

朝風

第17号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 萩の郷福祉工場



(平成22年度)

団数 312団
団員 7,405名
指導者 1,670名

これからのスポ少に求められること

仙台市スポーツ少年団

本部長 安中俊作

「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを」、「スポーツを通じて青少年の心からだを育てる」ことを理念に掲げ、日本にスポーツ少年団が誕生してからもうすぐ創設五十年という節目の年を迎えます。それを踏まえ、平成二十一年六月に「スポーツ少年団の将来像」が示されています。

今後、具体的な取り組みがなされていくことになりますが、とりえず、いろいろ提案されている課題の中で目ぼしいいくつかの項目をひろってみたいと思います。

まず、スポーツ少年団が更に発展していく上で理念の再確認を行い、冒頭の二つの理念に「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」ことが加えられることになりました。

次に、現在団員の対象年齢は小学生以上となっていますが、それを幼児まで拡大する必要性が示されています。

一方、これまでの活動においても課題として掲げられていた「指導者の資質の向上」や「勝利至上主義からの脱脚」という課題については、今後も継続して対策を講じて行くことになりました。

そして、これからのスポーツ少年団の役割としては、地域において青少年にスポーツの楽しさを伝えることであり、スポーツ人口を拡大することにより地域における生涯スポーツの実践の場を作ることが求められています。

結びになりますが、それぞれの団においては、理念に基づいた活動指針であるかを再確認すると共に、地域社会で、地域の多くの人々と一体となって青少年を育てていくという姿勢と対策が一層必要となることを踏まえ、これからの日本を支える人材を育成するという重要な組織として活動していただきたいと考えるものであります。



平成22年度 入団式・交流会

平成二十二年
度

仙台市スポーツ少年団
入団式・交流会開催

四月二十五日(日)十時〜シエルコムせんだいにて、仙台市スポーツ少年団の入団式が開催されました。団数一〇三団、団員・母集団・指導者含め一八六六名のみなさまの参加を頂きました。

●式辞

開会宣言の後、二年目を迎えた仙台市スポーツ少年団の安中俊作本部長が、七〇〇〇名を超える団員・指導者とともに、今年度も一生懸命頑張ります。宜しくお願いします」と挨拶。

●優秀団員表彰

来賓紹介の後、平成二十一年度優秀団員の表彰を行いました。

代表して荒浜ミナバスケットの涼太君が本部長より表彰され、他の優秀団員は各団の監督やコーチから、それぞれメダルと賞状が授与されました。

●新規団歓迎

次に、今年新たに登録された新規団に対して、認定書の交付と団旗の贈呈が行われ、新しい仲間の入団をみんな歓迎しました。

●誓いのことば

最後に悠介君(燕沢クールヘッズ)と祥子さん(仙台ジュニア泉トランポリン)が、「団員綱領」を元氣よく宣誓し、楽しいスポーツ活動を通して健康な体と心を養うことを、全団員が誓い合いました。



▲誓いのことば



▲新規団歓迎



▲優秀団員表彰

平成二十二年

仙台市・白老町 歴史姉妹都市スポーツ少年団交流会



▲ 歓迎式

お見送りでお見送り。途中で支笏湖を見学、札幌市内で時計台や札幌ドームなどを観光後、十八時二十分飛行機で帰途についた。

二日は、白老町の皆さんのお見送りでお見送り。途中で支笏湖を見学、札幌市内で時計台や札幌ドームなどを観光後、十八時二十分飛行機で帰途についた。

老町の関係者と懇親。

一日は、競技別に町営球場、ポロト湖、スポーツセンター、総合体育館などに分かれて、開会式を行った後、スポーツ交流や親睦会で交流を楽しんだ。



▲ 交流大会

安中本部長を団長として、指導者・父母ら(二十八名)が引率し、七月三十一日九時四十五分仙台空港から飛行機で出発。十二時に白老町に到着し白老町スポーツ少年団の歓迎を受けた後、市内観光として仙台藩白老元陣屋資料館、アイヌ民族博物館などを見学。

夕刻、団員はホームステイ先と対面し、白老町スポーツ団の家庭でホームステイ交流へ、指導者と父母は白老町の関係者と懇親。

今年、野球の茂庭台ライオンズ、大沢野球の二団、サッカーの南小泉サッカー、バレーのつばめ沢ミニバスケットの片平バスケットが参加した。

安中本部長を団長として、指導者・父母ら(二十八名)が引率し、七月三十一日九時四十五分仙台空港から飛行機で出発。十二時に白老町に到着し白老町スポーツ少年団の歓迎を受けた後、市内観光として仙台藩白老元陣屋資料館、アイヌ民族博物館などを見学。



《開会式》



ボカリスエットスポーツクリニクが七月十八日(日)コーチを招いて青葉体育館を会場に開催されました。仙台市スポーツ少年団の十団が参加され大盛況でした。



二〇一〇 仙台市スポーツ少年団交流会

ボカリスエットスポーツクリニク開催



《閉会式》



参加団

つばめ沢
 高森シスターズ
 レインボースターズ
 茂庭台少年剣道クラブ
 東仙台剣道
 立町サッカー
 向山ファイブパインズ
 青葉空手道
 古城ファントムミニバスケットボール
 南小泉バスケットボール

夏の松島で ジュニアリーダースクール

平成二十二年七月三十日から八月一日まで「宮城県松島自然の家」で仙台市スポーツ少年団のジュニア・リーダースクールが開催されました。今年は同時季に「白老交流会」と島根県でのリーダー会「SHIPS」と重なったために、参加人数が心配されましたが、団員・リーダー会・指導者を含めて約四十名での合宿となりました。事前研修会ではなるべく違う単位団、部会ごとになるよう班編成した為、最初は不安の様子でしたが自然の家に到着後すぐに班別のミーティングが行われ、カリキュラム最初のスコアオリエンテーリングを（広大な自然の家）庭園で始まり、協力しあいながらポイントを捜して歩いている内に班内にコミュニケーションが生まれ不安な空気は一蹴されました、夕食はまきで火をつけることから始まり、カレーライスを作り飯ごう炊飯が出来上がると大歓声があがりました。夜は恒例のキャンプファイヤーと花火大会となりました。『火』と『仲間』についてドラマチックに佐藤剛先生が演出して話してくれました。

今年から温水になったシャワーを浴びてから、テントで夢の世界へ、二日目は、朝のラジオ体操から始まり、創作活動として「サンドアート」（砂絵）を体験しました、お昼はテントサイトで炭火で焼きそば作りをしました。盛夏の中でしたが皆おかわりしてました、午後からは体育館に入り五種目の運動適正テストを実施しました、終了後レクレーションとして「キンボール」を田原先生に「卓球」を松浦先生に指導してもらい、夕食は宿泊棟の食堂で頂きました、ゆっくりお風呂に入り、ベッドで眠りました。

メインの講話は「スポーツ少年団とは」西山理事長「リーダーとは」田原理事「熱中症について」大塚製薬さんの講話を入れながら、二泊三日のカリキュラムをすべて完了して新しいリーダーが誕生する事を願いつつ無事故で解散となりました。



▲朝礼の風景



▲テントの風景



▲野外炊飯風景



▲キャンプファイヤー風景



▲キャンプファイヤー風景



▲カレーライス作り

松島の自然に大感激！

泉区スポーツ少年団

「平成二十二年救急救命講習会」

六月二十三日（土）、泉区スポーツ少年団指導者母集団研修会が泉消防署三階体育館で開催されました。

テーマは救命救急講習会で二十一名参加しました。梅雨時のウィークデーの夜ということで、参加人数が心配でしたが、二十一名の指導者並びにご父兄方々の参加を頂きました。指導の消防士の方は、前年度まで一九番の指令に居たということで一九番発信の指導から始まり、簡易止血法や骨折・捻挫の応急処置法を教わりました。

続いて、人口呼吸や心臓マッサージの方法を行ない、本気でやると結構つかれました。AEDは倒れている人の意識があるかを確認してから、一九番する人、近からAEDを持ってくる人、そのあいだに人口呼吸をしながら心臓マッサージを行ない、AEDを待ちます。AEDはアナウンス通り操作を行って救急車がくるまで続けます。

二十一人を半分にわけてグループごとに順番に訓練を受けました。中には数回受ける人もいました。が、何回受けても実際現場では仲々声が出ないことも教わり、私達もこれから何回か受けたいと実際には大変だと感じました。



若林区スポーツ少年団

指導者協議会指導者研修会

五月十五日、若林区スポーツ少年団の母集団・指導者研修会が若林区中央市民センター二階セミナー室で開催されました。

テーマ「心肺蘇生法とAED実技講習」講師 仙台市立病院救命救急部様から医師と看護師の方を講師としてお招きし、実例を基に心肺蘇生方法と、AEDを使用して講義をしていただきました。

出席者 二十四名参加しました。実際の医療の現場では、限られた短い時間内で措置を実施しなければならず、今回の講習内容とは同じ内容で二日間行なわれるとの説明に、参加された方々も真剣に取り組んでました。又、講習終了後の質疑応答でも様々な質問があり、有意義な研修会となりました。



講義風景



AED実技講習

仙台市スポーツ少年団で検索！ ホームページを見てみよう!!

仙台市スポーツ少年団のホームページでは、行事のつど報告を行っております。スナップ写真もたくさん掲載しております。

是非アクセスしてみてください。

なお、あなたの団も紹介できるコーナーもありますので是非、ご利用下さい。

アドレス

<http://sendai-ships.boy.jp/>

平成22年度 全国大会出場団

- 第26回若葉カップ全国小学生バドミントン大会
燕沢ジュニアバドミントンクラブ

- 第5回オールジャパン・ジュニア・ダンススポーツカップ2010in長野
ジュニアダンススポーツクラブせんだい

- 第34回全日本少年サッカー大会
ベガルタ仙台ジュニア

- ファミリーマートカップ
第30回記念全日本バレーボール小学生大会
蒲町小

- バーモンドカップ
第20回全日本少年フットサル大会
S・K(七郷・蒲町)サッカー

- 第42回全国ミニバスケットボール大会
吉成サンシャインミニバスケットボール

- 第8回全国スポーツ少年団
バレーボール交流大会
蒲町小

平成23年度本部事業予定

入団式は4月24日(日)は東日本大震災のため中止

月日	曜日	行事名称	会場
5月～6月頃		委員会総会(延期)	未定
中 止		入団式	
中 止		ポカリスエット ファミリースポーツクリニック	
中 止		ジュニアリーダースクール	
中 止		白老町スポーツ少年団交流会	
未 定		スポーツリーダー養成講習会兼 スポーツ少年団認定員養成講習会 (県事業)	未定
未 定		認定員研修会(県事業)	未定
平成24年 3月17日	土	指導者・母集団研修会、 登録説明会	広瀬文化センター

本年も登録はお早めに!!

仙台市スポーツ少年団の登録は

4月1日から7月20日までです。

登録後に、追加のある場合は

4月1日から7月20日までです。

登録事務受付変更

住 所：仙台市青葉区錦町1-3-9

仙台市役所錦町庁舎3F

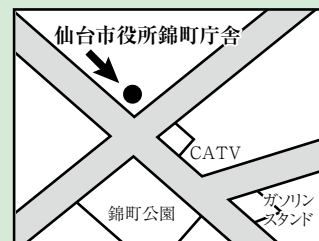
(財)仙台市スポーツ振興事業団内

T E L : 022-262-4180 F A X : 022-268-4193

事務局にお越しの際は駐車場がありませんのでご注意ください!

※AM10:00~PM16:00

昼休み中も受付ます。



種目別部会 団数・団員数

種目別部会名	団数	団員数
サッカー	70	2,079名
野 球	75	1,899名
バスケットボール	69	1,579名
バレーボール	44	577名
柔 道	11	247名
空 手 道	14	206名
剣 道	12	170名
バドミントン	3	102名
トランボリン	1	18名
ソフトテニス	1	12名
スノーボード	1	5名
ラグビー	1	36名
少 林 寺	1	11名
卓 球	1	8名
テ ニ ス	1	12名
ボウリング	1	8名
ダンススポーツ	1	25名
複 合	6	423名

編集後記

安中新本部長のもと平成二十二年年度の事業も終わり、平成二十三年の活動に入りましたが、今年度もスポ少のホームページを提供頂いている、及川行雄氏に多大なるご協力を頂きありがとうございます。

今迄に寄せられた多くの方々のご要望にお答えして、今年度も写真も出来る限り載せ、読む朝風から見る朝風へと、見やすく皆様方がふと目をとめて頂けるような新聞作りをと努力して参りました。

団員の皆様のご協力頂きましたこと心より御礼申し上げます。後記とさせて頂きます。ありがとうございます。

平成二十三年三月十二日

広報委員会

広報委員長

委員

ホームページ担当
広報担当副部長

小畑 安男
阿部 強・小松 優
引地 貞利・佐藤 忠光
及川 行雄
田中恵美子